

2013年（平成25年）10月発行

な か ま

第46号



発行者 益田市保育研究会
情報発信委員会

事務局 〒698-0036
益田市須子町3-1
TEL 23-3607
FAX 22-3554

卒園児を送り出した後、新入園児を迎えることで、各施設新たな雰囲気にも包まれていた4月。春夏と季節が流れる中でさまざまな行事や体験をされたことだと思います。そして季節は秋に入っていく頃を迎えました。この時期も運動会を始め、多くの行事を計画されていることでしょう。ご承知のように、一つひとつの行事、もっと言えば日々の生活が子ども達にとっては掛替えのない経験です。子ども達がよりよい経験を積むことができるよう、各施設内だけでなく会員の皆さんが知恵を出し合ってよりよい益田市の子育て環境を作りましょう。

益田市保育研究会とは ～ 吉村会長との対談より ～

今回、2期目を迎えられた吉村会長との対談する機会を設けさせていただきました。研究会について話を伺ってみました。その様子をお届けします。

（文中では敬称を略し吉村とさせていただきます。聞き手は本田です。）

本田：本日はお忙しい中お時間を作っていただき有難うございました。さっそくですが、2年間会長として様々な場所に出向かれ、様々な方とお会いされたと思います。そんな中で益田市保育研究会として誇れることはなんのでしょうか。



情報発信委員長 本田

吉村：やはり一致団結できる力が最大の魅力だと思います。平成23年に益田市で島根県保育研究大会が開催されました。吉田保育所の杉原先生に実行委員長をお勤めいただいたわけですが、準備の段階から皆さんに様々なアイデアを



保育研究会 会長
吉村里恵 先生

いただきました。発表を担当してくださった先生方はもちろんですが、多くの会員の皆様にも会場に足を運んでいただきました。万全の準備をしたつもりでも、当日抜けている点も多かったのですが、全員で対応し無事閉幕を迎えることができました。この団結力は他組織の皆さんから賞賛されることが多いんです。「益田市の団結力ってすごいですね」って声を県大会後、たくさん耳にしました。翌年開催担当の準備委員会では益田市のやり方を参考にされた点があったと聞いています。他の市町村から一目を置かれるほどの団結力。これは素晴らしい点だと思います。

本田 : なるほど。たしかに会員の皆さんが研修や委員会活動に積極的に参加されている点から見てもみんな高め合っているように感じることありますね。

吉村 : にこにこの部屋を始め、研究会でさまざまな子育て支援を行っています。これも会員の皆さんの協力があってこそ成り立っていることです。ここ数年で所長先生を中心に世代交代が徐々に進んでいると感じます。これからの保育研究会に必要なことは、研究会設立から今に至るまでの益田の保育を支えて下さった方々の想いを土台として「今」という時代に即した子育て支援をすることであり、色々な事業に取り組むことだと思います。これが研究会の目指す所ではないでしょうか。一人一人が自分を深めるために新しい情報を取り入れたり、保育の質を高めるための委員会や部会でありたいと思います。



想いを土台とした「今」について語る吉村会長

本田 : 想いを継承しながら新しい一歩を進めることは必要なことですね。継承してきたからこそ今、先生が誇りと感じている団結力があるのでしょうか。やはり以前と今では子ども達を取り巻く状況も変わっています。例えば、一人親家庭や外国人親家庭の

増加。益田市でも支援の体系を考えなくてははいけませんね。

吉村 : 一昔前は当たり前だったことがいつの間にか忘れられた大切な事。その一つがふるさと教育だと感じます。益田のよさに触れる機会が減少してしまった今だからこそ、ふるさとに触れることで自分のやってみたいことを考える力や探究心が養われてくると思います。子ども達の将来の事を想像しながら接していくことはとても大切なことですが、それ以上に「今」の子どもと寄り添いながら、「今」の保護者の支援を大切にしていきたいと思っています。

本田 : 吉村先生、もう少し掘り下げてお話を聞きたかったのですがお約束の時間となってしまいました。これから2年間、研究会会長として宜しくお願いします。本日はお忙しい所、有難うございました。

吉村 : 有難うございました。

わずかな時間の対談ではありましたが、吉村会長がどのような思いを持って研究会運営や活動に取り組んでいるのかについてお話を伺うことができました。研究会の歴史や携わってこられた先生方の想いを大切にしながらの「今」、そして「これから」。会長のお役目は2期目とされます。我々会員の中心となって活動される会長を会員みんなで盛り立てていきましょう。

～ 委員会報告 ～

一人親と子の親子で交流会【子育て支援事業推進委員会】

交流会を7月21日に匹見川ふれあい公園で開催しました。今回は3組8人の参加で川遊びやバーベキューをしながら交流しました。みんなで野菜の皮をむいたり、切ったり、ちぎったりと親子で楽しみながら準備をしました。ご飯が炊けるまでの間、匹見川で魚を捕まえたり、泳いだりして遊びました。お釜で炊いたご飯がとてもおいしかったです。



キャンドル作り【男性保育者部会】

9月7日の親子キャンドルフェスタで手作りキャンドルブース出展のため、明星保育園の城市先生を講師に迎え、キャンドルの作り方を指導していただきました。



その他の委員会も企画したイベントや計画目標に向けて取り組みを続けています。それらは研究会ホームページ上にて随時公開しています。是非ご覧ください。

こっころ親子キャンドルフェスタ2013 in グラントワが開催されました



中庭回廊沿に並ぶ手作りキャンドル

今年で8回目となる、こっころ親子キャンドルフェスタが9月7日にグラントワで開催されました。このイベントは、益田市保育研究会とかのあし保育協議会の加盟園41園、そして益田市内の幼稚園3園が参加して開催いたしました。子ども一人ひとりが、竹と和紙を使い思い思いのキャンドルランタンを制作し、グラントワの中庭広場の水盤に飾られます。今年は1411個のキャンドルが幻想的な空間を創りあげました。今回は雨の中の開催になり親子でランタンに火を灯すことができませんでしたが親子で楽しいひとときを過ごされていました。ステージでは、しまねのゆるキャラが大集合したり、「よしととひうた」のコンサート、保育士バンド「シュークリーム」の演奏などイベントを盛り上げていました。昨年忙しくて来れなかった「しまねっこ」も遊びに来てくれて会場は大賑わいでした。

来年も遊びに来てほしいですね！大ホールホワイエでは親子で体験するコーナーなどお楽しみブースが出展されました。保育研究会も調理担当者部会のおいしいおにぎりの販売や男性保育者部会の手作りキャンドルなどのブースを出展しました。また、ボランティアスタッフとしてお手伝いいただきました先生方、雨の中大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

この親子キャンドルフェスタは、島根県少子化対策推進室（こっころ）と協力し、子育て家庭に体験活動の楽しさを伝え、子どもの健全な育ちを支援する目的で開催しております。また、今年先日の集中豪雨で大きな被害を受けた津和野町の1日も早い復興を願い、チャリティイベントも兼ねて開催させていただきました。参加していただいた多くの方に賛同していただき、多くの義援金が集まりました。今年はいにくの天候で、グラントワ室内での開催となりましたが、多くの方にお越しいただき、親子でふれあいながら楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



ゆるキャラ大集合
～グラントワ大ホール～



よしととひうたコンサート
～グラントワ大ホール～

書籍紹介コーナー



おすすめハッピー絵本

皆さんもよくご存じだと思いますが、素朴な絵とストーリーで親しみやすい『からすのパン屋さん』の絵本。私は子どもの頃これを読み、美味しそうなユニークなパンがたくさん描かれたページが大好きでした。パン屋さんになろうかな～なんて思った事も思い出します。又、登場するからすの4羽の子どもの名前がチョコちゃん・りんごちゃん・れもんちゃん・おもちゃちゃんとこれまたユニークで、すぐに絵本の世界に引き込まれた思い出の1冊です。今でも大好きな絵本として保育所や家庭で読み聞かせ、子どもたちにも大人気の絵本となっています。



そして最近書店でからすのパン屋さんの続編を見つけました。早速購入しワクワクしながら読みました。(まずは自分1人で^^♪) 4羽の子どもからすは大人になり、食べ物屋さんを開くまでのお話でした。あのいたずらっ子が大人に! ? 何だか本当に子どもの成長を見るようで嬉しくなりました。子どもたちにも読んでみたところ「このチョコちゃんが大人になったの?」と小さい頃のチョコちゃんと大人になったチョコちゃんを見比べながら、自分と同じように成長を喜んでいる姿や、「僕は大人になったら何屋さんになろうかな～?」などといつまでも絵本を見ている姿が見られ、嬉しくなりました。大人が慣れ親しんだ絵本を子どもに読んであげられることは幸せな共通体験だなと感じました。良かったら読んでみて下さい(*^_^*)



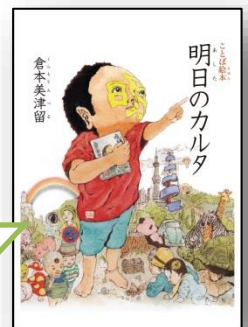
著・かこさとし
／偕成社

(あらすじ) パン屋の夫婦に4羽の子どもが生まれました。夫婦は子どもの世話で大忙しでなかなか商売になりません。しかし、その4羽の子どもの思わぬ行動が大繁盛に繋がります!



『ザ・ケロポンズ』ケロポンズ 著 鈴木出版
大好きなケロポンズがますます好きになる一冊です!

『ことば絵本 明日のカルタ』
倉本美津留 著 日本図書センター
ユーモアいっぱいの「ことば」に元気がでます。



『私が一番受けたいココロの授業 人生が変わる奇跡の60分』比田井和孝 比田井美恵 著 ごま書房新社
何の為に働くのかということを考えさせられました。

『保育を変える記録の書き方 評価のしかた』
今井和子 著 ひとりなる書房
保育の質について考えさせられる一冊です。



ぱぱっと簡単レシピ

仕事が遅くなった日や、ちょっと疲れてやる気が出ない日も、自分に家族に美味しい夕飯！
簡単おいしいレシピを紹介します。

サバのカレーあんかけ

〈材料〉 〈2人分〉

鯖切り身（半身）	2枚	
塩	少々	
片栗粉	適宜	
油	大1	
⊕	砂糖	大1
	酢	大1 1/2
	醤油	大1
	カレー粉	小1/3
	水	大2

〈作り方〉

- ① 鯖は半分に切り、塩を振って少しおく。出てきた水をふき取り片栗粉をまぶす。
- ② フライパンに油を入れ、①をこんがり焼く。焼いている間に⊕を混ぜ合わせて調味料を作る。
- ③ 魚が焼けたら調味料を回し入れ、魚にからめる。

ブロッコリーのレモンツナ和え

〈材料〉 〈2人分〉

ブロッコリー	1株	
ツナ缶	1/2 ⊕	
⊕	レモン汁	大1
	塩こしょう	少々
	昆布茶	小1/2

〈作り方〉

- ① ブロッコリーは切り分けて、固めにゆでる。
- ② ツナは軽く油をきり、ブロッコリーと⊕で和える。

手羽先のマーマレード煮

〈材料〉

手羽先	10本
マーマレードジャム	大4
醤油	大2

〈作り方〉

- ① すべての材料を鍋に入れて、焦げないようにコトコト煮る。

編集後記

本誌の発行に当たり保育の情報だけでなく、様々な情報を掲載することにしました。そこで今回は調理担当者部会の先生方に簡単レシピの御提供をお願いしました。調理担当者部会の先生方、ご協力有難うございました。今後も会員の皆さんの為の情報を掲載したいと思います。ご意見ご感想、お待ちしております。

益田市保育研究会情報発信委員会

委員長 本田 行信（まるに） 副委員長 佐々木白文（遠田）
委員 宇田川亜由美（鎌手） 委員 安岡 佐織（ひかり）

この機関紙に対するご意見・ご感想をお寄せ下さい。あて先はこちら↓まで
益田市保育研究会情報発信部会 : メールアドレス masuho@image.ocn.ne.jp
ホームページ : URL <http://masuho-k.jp/>